

| | | | | | |
|--|--|---|--|--|---------|
| 函館工業高等専門学校 | | 開講年度 | 平成31年度 (2019年度) | 授業科目 | スポーツ科学Ⅲ |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0069 | | 科目区分 | 一般 / 必修 | |
| 授業形態 | 授業 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 2 | |
| 開設学科 | 生産システム工学科 | | 対象学年 | 3 | |
| 開設期 | 通年 | | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | | | | | |
| 担当教員 | 浦田 清, 清野 國安 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 各種スポーツの基本的な技術を習得し、動きとして実技の中で実践することができる。また、毎時間授業に出席して、集団の一員としての役割と責任を自覚し、個人や集団の安全に注意しながら練習や試合に集中することができる。これが到達レベルである。 | | | | | |
| ループリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| 評価項目1 | 標準的な到達レベルの 目安に加えて、それぞれの実技試験 (30点満点) において、1/3以上の点数を取る | 授業へ遅刻、欠席、見学することなく安全に注意し集中して熱心に授業に取り組む。加えて、各スポーツの技術についての知識を理解する。 | 遅刻、欠席、見学が比較的多く、授業に集中しない又は熱心に取り組まない。また、各スポーツの技術についての知識を理解しない。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 函館高専教育目標 A | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | スポーツを楽しむことができるように、それぞれの種目における基本的な技術についての知識を習得し、動きとして実践し、それをゲームに応用できるようにする。毎時間授業に出席して、集中力をもって積極的に授業に取り組む姿勢が大切である。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 出欠・見学・授業態度 (A-2) (70%)、実技試験 (A-2) (30%) で前期期末、後期期末に評価する。また、次に該当するような授業態度 (熱心に取り組まない、指示に従わない、授業におけるルールを守らない、他人に迷惑を掛ける、集団行動を乱す等) があった場合は、程度によって減点する。 | | | | |
| 注意点 | <ul style="list-style-type: none"> 健康管理に配慮して、スポーツ実技・試験に参加すること。 安全に注意し、集中力を発揮して積極的に授業に取り組むこと。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | ガイダンス スポーツテスト (屋内) | 今年度の授業の要点を理解できる 自己の体力水準を把握する | |
| | | 2週 | ソフトボール | キャッチボールの基本的技術の知識を習得する ゴロとフライの基本的技術の知識を習得する 軽く投げられたボールを正確に打つことの基本的技術の知識を習得する | |
| | | 3週 | ソフトボール | キャッチボールの基本的技術の知識を習得し、実践できる ゴロとフライの基本的技術の知識を習得し、実践できる 軽く投げられたボールを正確に打つことの基本的技術の知識を習得し、実践できる | |
| | | 4週 | ソフトボール | キャッチボールの基本的技術の知識を習得し、実践できる ゴロとフライの基本的技術の知識を習得し、実践できる 軽く投げられたボールを正確に打つことの基本的技術の知識を習得し、実践できる | |
| | | 5週 | ソフトボール | 投球、捕球、打撃の基本的技術を用いてゲームができる | |
| | | 6週 | ソフトボール | 投球、捕球、打撃の基本的技術を用いてゲームができる 実技試験 | |
| | | 7週 | ソフトボール | 投球、捕球、打撃の基本的技術を用いてゲームができる 実技試験 | |
| | | 8週 | | | |
| | 2ndQ | 9週 | スポーツテスト (屋外) | 自己の体力水準を把握する | |
| | | 10週 | 卓球 | 卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる | |
| | | 11週 | 卓球 | 卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる | |
| | | 12週 | 卓球 | 卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる フォアハンドラリーができる | |
| | | 13週 | 卓球 | 卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる フォアハンドラリーができる ゲームができる | |
| | | 14週 | 卓球 | 卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる フォアハンドラリーができる ゲームができる | |

| | | | | |
|-----|------|-----|------|---|
| 後期 | | 15週 | 卓球 | 卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる フォアハンドラリーができる ゲームができる 実技試験 |
| | | 16週 | 卓球 | 卓球のフォアハンドロング、フォアハンドスマッシュの基本技術の知識を習得し、実践できる フォアハンドラリーができる ゲームができる 実技試験 |
| | 3rdQ | 1週 | 羽球 | ラケットの握り方、リストワークの基本的技術の知識を習得する ラケットの握り方、リストワークの基本的技術を実践できる オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークができる |
| | | 2週 | 羽球 | オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークができる ロングハイサーブができる ハイクリアーができる |
| | | 3週 | 羽球 | オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークができる ロングハイサーブができる ハイクリアーができる |
| | | 4週 | 羽球 | オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークなどの基本的技術を用いて、シングルス及びダブルスのゲームができる |
| | | 5週 | 羽球 | オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークなどの基本的技術を用いて、シングルス及びダブルスのゲームができる |
| | | 6週 | 羽球 | オーバーヘッド、アンダーアームのフォアハンドストロークなどの基本的技術を用いて、シングルス及びダブルスのゲームができる 実技試験 |
| | | 7週 | 羽球 | 実技試験 |
| | | 8週 | | |
| | 4thQ | 9週 | ゴルフ | セットアップ（クラブの握り方、姿勢、打つ方向）の基本的技術の知識を習得し、実践できる スイング（腕の振り、腕のひねり、体の捻転）における基本的技術の知識を習得し、実践できる |
| | | 10週 | ゴルフ | セットアップ（クラブの握り方、姿勢、打つ方向）の基本的技術の知識を習得し、実践できる スイング（腕の振り、腕のひねり、体の捻転）における基本的技術の知識を習得し、実践できる |
| | | 11週 | ゴルフ | セットアップスイングの基本的技術を基に、インパクトゾーンにおけるスイングについての基本的技術の知識を習得し、実践できる |
| | | 12週 | ゴルフ | セットアップスイングの基本的技術を基に、インパクトゾーンにおけるスイングについての基本的技術の知識を習得し、実践できる |
| | | 13週 | ゴルフ | インパクトゾーンにおけるスイングを基に、フルスイングができる |
| | | 14週 | ゴルフ | インパクトゾーンにおけるスイングを基に、フルスイングができる |
| 15週 | | | | |
| 16週 | | ゴルフ | 実技試験 | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|---------|----|------|-----------|-------|-----|
| 評価割合 | | | | | |
| | | 実技試験 | 出欠・見学 | 相互評価 | 合計 |
| 総合評価割合 | | 30 | 70 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | | 30 | 70 | 0 | 100 |
| 専門的能力 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | | 0 | 0 | 0 | 0 |